

# 会長就任のご挨拶

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会  
会長 松崎 正年  
(コニカミノルタ株式会社 取締役会議長)

このたび、ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)の会員、理事の皆様のご推挙をいただき、内田前会長の後任として、当産業協会の会長に就任することになりました。

アベノミクス効果と日銀金融緩和効果により、日本経済には明るい展望が開けつつあり、世界経済も中国経済減速リスクや新興国のカントリーリスクはあるものの、米国の堅実な成長、欧州も景気が底打ちし緩やかな成長が見込まれる中で、私は、新会長として、内田前会長に築いていただいた一般社団法人としての協会基盤の上で、「業界の継続的な成長」を意識した取り組みを行なって参りたいと思います。そのことが、日本経済の再生・持続的成長に貢献し、社会の発展にも寄与すると考えております。

JBMIAは、グローバルにビジネスを展開し、お互いが世界各地域で切磋琢磨し、強い競争力を持ち、存在感を発揮している企業が参画している産業団体であります。当業界は、日本、米国のみならず、欧州市場や新興国市場でも日本企業同士がトップ争いをしている、珍しい、言い換えれば日本にとって貴重な産業であります。

従い、JBMIA参画企業が、今後も日本のみならずグローバルマーケットでの事業活動を通じて成長を続けることが、日本経済の持続的成長、あるいは、日本の貿易収支・経常収支改善のためにも必要であり、それが当業界の使命でもあります。

それに応じていくには、(1)先進国(日本、米国、欧州)においてマーケットの成長率が成熟しつつあるという現状を認識し、私たちが提供する製品・サービスが革新を続け、変化する需要に応え、更には需要を創出しなければなりません。(2)経済成長潜在力の高い新興国において、当産業が成長を続けられるようにしなければなりません。一方で、(3)JBMIA参画企業が、世界各地域での主要プレイヤーであるとの自覚のもと、製品・サービスの提供者としての社会的な責任を果たしていかなければなりません。これらを念頭に、JBMIAが政策面で次の2年間に取り組むべき力点を、以下の三点に置きました。

まず、第一に、「ワークスタイルの変化への対応」です。

クラウドコンピューティングやモバイルコンピューティングの普及、ビッグデータの実用化といった技術の変化、企業の経営環境の変化に伴い、ワークスタイルが変化しつつあります。JBMIAとして、ワークスタイルの変化を理解し、また変化を先読みし、「提供する製品・サービスの革新」という視点で、対応策を検討致します。このことが製品・サービスの陳腐化を防ぎ、業界全体としてのビジネス機会の拡大につながります。

第二に、「グローバルビジネスへの更なる対応」です。

グローバルに事業活動が確保できる様、ITA拡大交渉や保護主義的な規制への対応を、関係機関と連携しながら適切に対処致します。成長国でのビジネス機会拡大のための取り組み、例えば、ビジネス環境に関する情報収集、情報の会員企業との共有化を行ないます。JBMIA参画企業がビジネスを展開する世界各地の関係機関との交流を促進し、供給者に求められる要求事項・規格類に適切に対応致します。提言・助言といった能動的な取り組みも行ないます。

第三に、「製品ライフサイクルを見据えた環境対応」です。

気候変動への対応が世界的に求められる中、低炭素社会・循環型社会の実現に向け、製品ライフサイクル視点で取り組みます。拡大・強化傾向にある各国の環境法規制・エコラベルへの対応や、環境リスク対応にも取り組みます。

内田前会長が取り組まれた協会改革、即ち、協会の基盤強化と効率化を継続して参ります。会員企業の皆様に向けたタイムリーな情報発信、並びに、戦略的な对外情報発信にも留意して参ります。

経済産業省をはじめ関係諸官庁のご指導、会員企業、JBMIA事務局のご協力を得ながら会長の責務を果たして参りたいと思います。皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。